

防災マップ



**すばやい判断と行動が
あなたの命を救います。**

災害はいつ起こるかわかりません。

いざというときに困らないよう

家族みんなで災害時の役割分担を決めたり

避難場所の確認など話し合いをしておきましょう。

必要な事はこの防災マップに書き込んで

すばやく避難ができる準備をしておきましょう。

はじめに

日頃の防災対策はできていますか？

みなさん、自然災害に対する対策は万全ですか？

災害は突然やってきます。日頃から防災意識を高め、準備をしておくことで、災害が発生しても、被害を最小限に抑えることが可能です。

しかし、大規模な災害が発生した場合には、交通網の寸断などから、町をはじめ防災関係機関がただちに十分な対応ができるとは限りません。被害を最小限に食い止めるためには、みなさん一人ひとりが、自助（自分の身は自分で守る）、共助（みんなで力を合わせて助け合い、自分たちの地域を守る）、の意識をもって、日頃から準備を行っておくことが何よりも大切です。

この防災マップを参考にいただき、平常時から災害に対する備えを心がけるとともに、災害時には自らの身の安全を守るよう行動しましょう。

この防災マップに、町が今後発行するマップや防災情報をはさみ込んで大切に保管しましょう。



目次

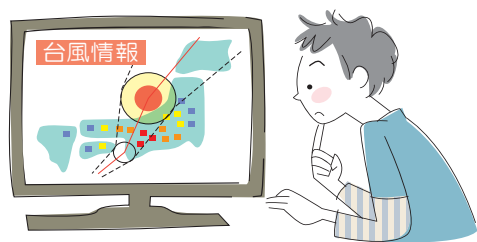
はじめに・目次	1 ページ
大雨による災害に備えて	2 ページ
土砂災害とは	3 ページ
避難情報ととるべき行動	4 ページ
地震に備えて	5 ページ
津波に備えて	6 ページ
地震・津波 避難時の心得	7 ページ
非常用品をチェックしましょう！	8 ページ
防災メモ	9 ページ

大雨による災害に備えて

雨は度々降るので警戒心が緩みがちです。避難の遅れや避難する場所を誤ると命を落とす危険性は十分にあります。日頃から万が一の事を考え行動できるように心がけましょう。

日頃から天気に関する情報を確認するように心がけましょう！

- ・日頃から雨や台風に関する最新の情報をテレビなどで確認するように心がけましょう。
- ・町の防災行政無線などの呼びかけにも注意しましょう。



ハザードマップ上で自宅と避難所を確認しましょう！

- ・自宅付近に土砂災害（特別）警戒区域や河川がないかを確認しましょう。※町災害マップなど参照
- ・避難所までの避難経路をマップに書き込みましょう。

避難経路を決める際の注意点

- ・2箇所以上の避難所へ避難できるように複数の避難経路を確認しましょう。
- ・大雨または、土砂災害によって通行止めになるおそれのある道路は避けましょう。



◆ 避難する時は、こんな点に注意しましょう

災害の危機が迫ってきたら、次の点に注意し、早めの避難を心がけてください。

堤防を有する河川で破堤した場合には、はん濫水の勢いで堤防近くの家屋は破壊・流出の可能性があります。そのような時に避難せず家屋にとどまっていた場合、人命に関わる事態の発生も予想されます。

大雨時には上流域も含めた雨量や河川水位情報等を早くから収集し、町からの避難情報などに注意しながら、堤防が破堤する前には必ず避難が完了するよう早めの避難を心がけてください。

また、がけ崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害は、すさまじい破壊力をもつ土砂が、一瞬にして多くの人命や住宅などの財産を奪ってしまう恐ろしい災害です。土砂災害警戒情報が発表された時や、土砂災害の前兆現象を感じたら早めの避難を心がけてください。

避難は足元に注意・・・



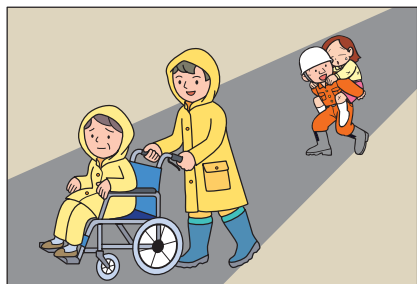
浸水深が浅くても足元には危険があるので長い棒などを杖がわりにして避難しましょう。できれば、2人以上で行動しましょう。

安全に避難するために・・・



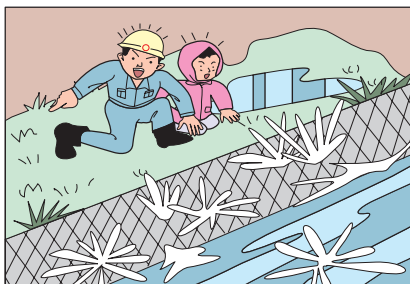
周囲の安全を確認し避難しましょう。場合によっては、消防署員・消防団員・自主防災会などの指示に従って行動してください。

子供や高齢者などの避難は・・・



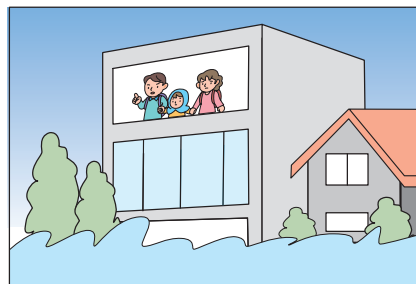
子供や高齢者などは、早めに避難しましょう。みんなで助け合って避難しましょう。

避難中にも危険がいっぱい・・・



浸水している場所やがけに沿った道は、避けて避難しましょう。切れた電線などにも注意しましょう。

万が一、逃げ遅れたときには・・・



指定避難所に間に合わない時は、自宅の2階や近くの高い建物などに避難しましょう。流れがあるときに外に出るのは危険です。

土砂災害とは

◆ 土砂災害の種類と前兆現象

がけ崩れ

豪雨、または地震により地盤がゆるみ、突然崩れ落ちる現象を「がけ崩れ」と言います。崩れた土砂は斜面の高さの2～3倍にあたる距離まで届くこともあります。がけ崩れの危険がある場所は、紀北町内で、337箇所（平成26年3月三重県指定）あります。



前兆現象

- がけに割れ目が見える
- がけから水が湧き出ている
- がけから小石がばらばら落ちていく
- がけから木の根が切れる音がする

土石流

谷や山の斜面から崩れた土や石などが、梅雨の長雨や台風の大雨などによる水と一緒に、一気に流れ出てくる現象が土石流です。

「土石流災害」は、流れの急な川があるところや扇状地で起こることが多く、速いスピードと強い力で被害をもたらします。土石流の危険がある場所は、紀北町内で、360箇所（平成26年3月三重県指定）あります。



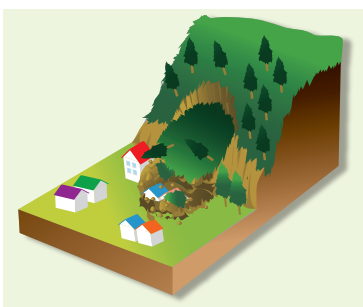
前兆現象

- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる（土砂により上流で流れがせき止められている）
- 川が濁ったり、流木が流れる

地すべり

地すべりは、緩やかな斜面の場所で、粘土のような滑りやすい地層に雨水などがしみ込み、その影響で地面が動き出す現象です。

1日に数ミリ程度と目に見えないほどの動き方ですが、突然ズルズルと数十メートルも動くことがあります。また、地すべりでせき止められた川の水が決壊すると、下流に大災害をもたらすこともあります。



前兆現象

- 沢や井戸の水が濁る
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水がふき出る
- 家やよう壁に亀裂が入る
- 家やよう壁、樹木が傾く
- 地すべりは、雨のほか、地震によって引き起こされます

雨が降り続いた場合 土砂災害に要注意

土砂災害は、一瞬にして、尊い命や住宅などの財産を奪ってしまう恐ろしい災害です。雨が降り続いた場合は、地盤がゆるんだりして土砂災害の発生する可能性が高くなります。特に自宅などが土砂災害特別警戒区域内にある場合は早めに避難しましょう。

◆ 土砂災害警戒区域等の指定について

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）

急傾斜地の崩壊に伴う土石等の移動等により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動に対して住民の生命又は身体に著しい危険が生ずるおそれがある損壊を生ずることなく耐えることのできる力の大きさを上回る区域。

※ただし、地すべりについては、地すべり地塊のすべりに伴って生じた土石等により力が建築物に作用した時から30分間が経過した時において建築物に作用する力の大きさとし、地すべり区域の下端から最大で60mの範囲内の区域。

土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）

■ 急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域

急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域

急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍（50mを超える場合は50m）以内の区域

■ 土石流

土石流の発生のおそれがある溪流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

■ 地すべり

地すべり区域（地すべりしている区域または地すべりするおそれがある区域）

地すべり区域下端から、地すべり地塊の長さに相当する距離（250mを超える場合は250m）の範囲内の区域

土砂災害特別警戒区域

建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域

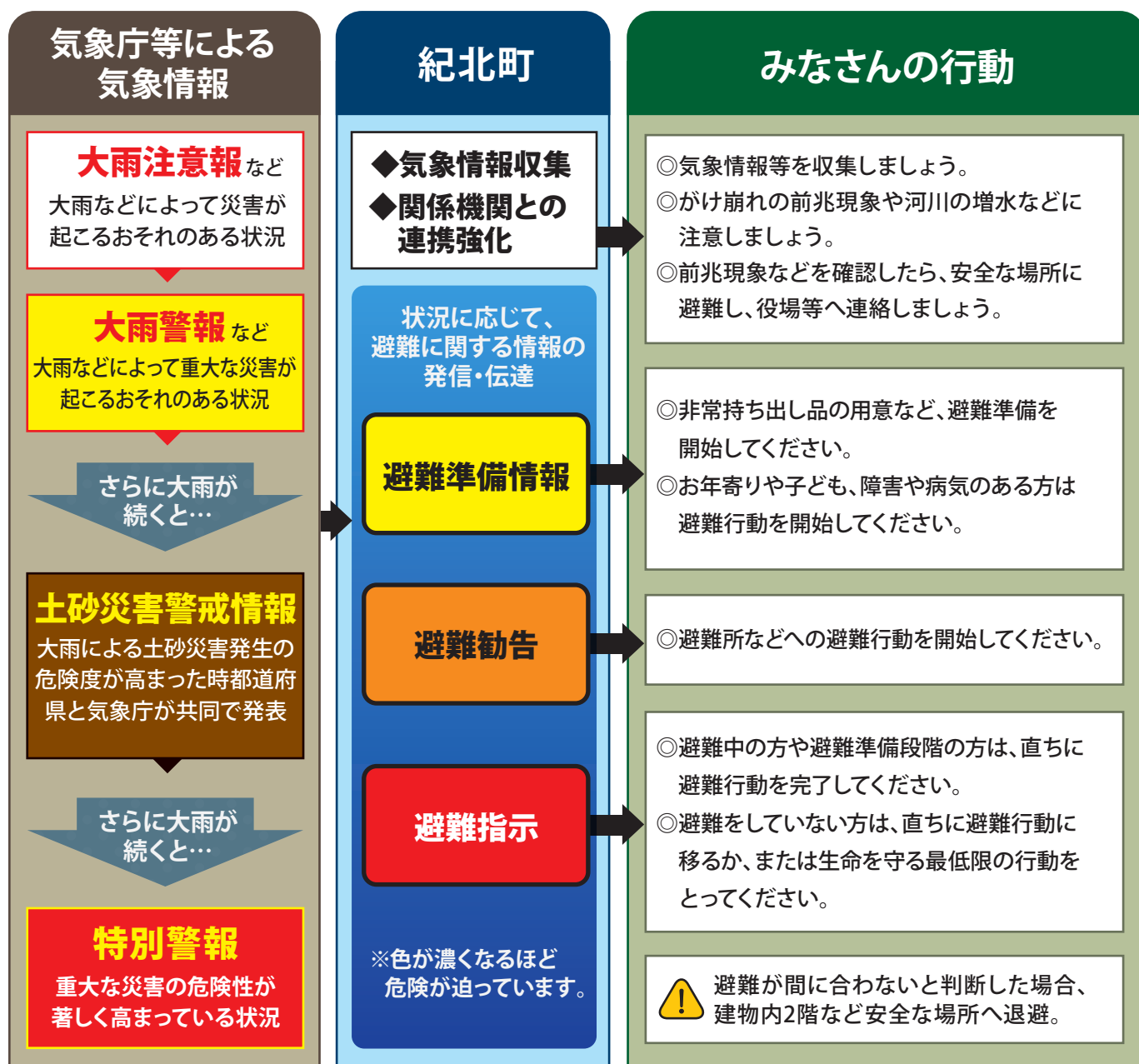
土砂災害警戒区域

土砂災害のおそれがある区域

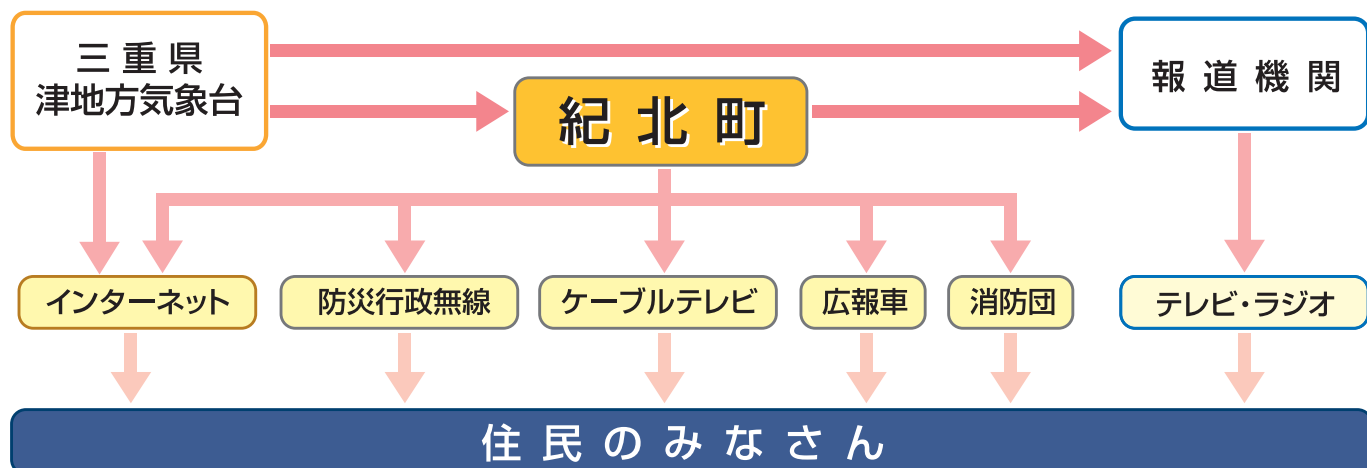
土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を三重県が指定しました。

【指定に関する問い合わせ先】
三重県尾鷲建設事務所管理課 TEL. 0597-23-3527

避難情報ととるべき行動



◆ 避難情報の伝達経路



地震に備えて

地震が発生した時に被害を最小限に抑えるには、一人ひとりがあわてず騒がず適切な行動をとることが大切です。そのために、地震について知っておきましょう。

◆ 震度とマグニチュード

地震の規模はマグニチュード(M)で表されます。これは地震の規模を表す単位で、マグニチュードが1.0上がればエネルギーは約32倍になります。

また、震度とは、ある地点で感じる揺れの強さを数字で示したものです。マグニチュードが大きくても震源から離れていれば、震度は小さくなります。

震度階級	人の体感・屋内の状況	震度階級	人の体感・屋内の状況
震度4	ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	震度6弱	立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
震度5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	震度6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
震度5強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	震度7	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。

「気象庁震度階級関連解説表」平成21年3月より

◆ 緊急地震速報

※震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

緊急地震速報は、震度5弱以上の揺れが予想されたときに、震度4以上が予想される地域に対し発表し、テレビ、ラジオ、携帯電話等で広く、伝達されます。緊急地震速報は見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。

※紀北町防災行政無線からは、三重県南部で震度5弱以上の揺れが予想される場合に放送されます。

◆ 南海トラフで発生する地震

南海トラフとは、静岡県駿河湾から九州東方沖まで続く海底の溝のことで、活発で大規模な活断層です。この南海トラフを震源とする地震はこれまでも100年から150年の周期で繰り返し発生しています。

現在では、南海トラフ全体を1つの領域と考え、**この範囲のどこかで、マグニチュード8～9クラスの大地震が発生する確率は、今後30年以内に70%程度といわれています。**

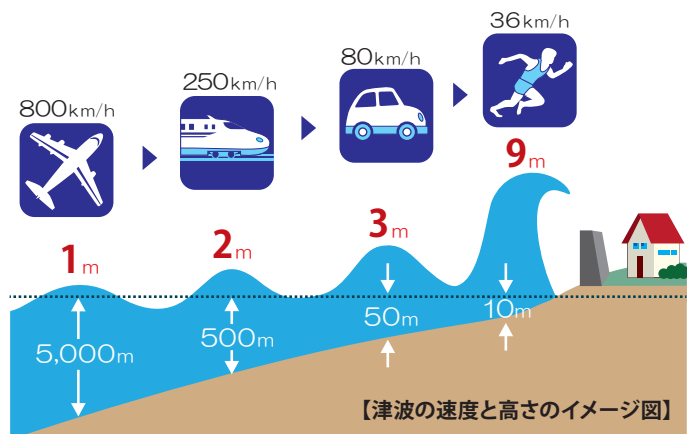
※三重県地震被害想定調査(平成26年3月)において、南海トラフ(海溝型)で発生する地震の場合、紀北町での最大震度は理論上最大クラスで震度7、過去最大クラスで震度6強の揺れが予想されています。



津波に備えて

地震だ！津波だ！すぐ避難！

津波から身を守るにはまず逃げるのが重要です。地域によっては短時間で津波がやってきます。津波に対する正しい知識を持ち行動しましょう。



津波の速さはジェット機を超える

津波が伝わる速さは海が深いほど速く、津波が太平洋を伝わる速さは、ジェット機以上にもなります。陸を駆け上がる速さも、大人の全力疾走以上なので、津波が見えてからではとても逃げ切れません。大きい揺れを感じたら、情報を待たずにすぐ高台などに避難することが何よりも大切です。

津波は繰り返し襲ってくる

津波は2回、3回と繰り返し襲ってきます。しかも、第1波の高さが最大となるとは限りません。津波警報、注意報が解除されるまで、海岸には絶対に近づかないようにしましょう。



津波の高さは想像を超える

津波の高さは海岸の地形などに大きく左右されます。沿岸での津波の高さが1メートルでも、津波はその数倍から場合によっては10倍程度の高さになり大きな被害を出すこともあります。特にV字状の湾、岬付近、河川沿いなどは高くなりやすく、大変危険です。

引き潮がなくても津波は襲ってくる

津波が海岸に到達する前に、引き潮（海面が下がる現象）が必ずあるとは限りません。地震の起こり方などによっては、引き潮が起こらないこともあります。大きい揺れを感じたら、いち早く高台などの安全な場所に避難し、ラジオなどから発表される津波情報に十分注意するようにしましょう。

◆ 津波警報・注意報の種類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ			とるべき行動
	数値での発表	発表基準	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超	10m<高さ	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	10m	5m<高さ≤10m		
	5m	3m<高さ≤5m		
津波警報	3m	1m<高さ≤3m	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難してください。
津波注意報	1m	20cm≤高さ≤1m	(表記しない)	海岸付近にいる人は、ただちに安全な場所へ避難してください。

◆ 津波避難のチェックポイント

ハザードマップを確認する

津波の浸水予測区域など、自宅周辺・職場・学校などの状況を確認しましょう。ただし、ハザードマップはある一つのモデルによる予測結果ですので、それ以上の津波がくる可能性も考えて避難しましょう。

家族で防災会議を開く

どこに避難して、どう連絡を取り合うのか、事前に話し合しましょう。

避難場所・避難経路を確認する

避難場所までの時間と避難経路の安全性を、実際に歩いて確認しましょう。

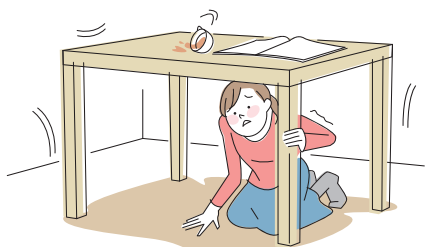
地震・津波 避難時の心得

地震・津波が発生した時に備えて、避難時の正しい行動や対策を知っておきましょう！

地震避難の心得

◆ まず、わが身の安全を守る！

なによりも大切なのは命。
地震が起きたら
まず最初に身の
安全を確保
しましょう。



◆ 火の始末は、ちょっと待って！

ゆれが激しいときは危険です。
ゆれがおさまってから、
あわてず無理せず
確実に火の始末を
しましょう。



◆ 扉を開けて、出口を確保！

強い揺れで建物が
歪み戸が開かなく
なることがある
ので、避難出口を
確保しましょう。



◆ 外に逃げるときはあわてずに！

外に逃げるときは、
瓦やガラスなどの
落下物に注意し、
落ち着いて行動
しましょう。



◆ 避難は歩いて荷物は最小限に！

避難をするときは、
荷物を最小限にして
原則として歩いて
避難しましょう。



津波避難の心得

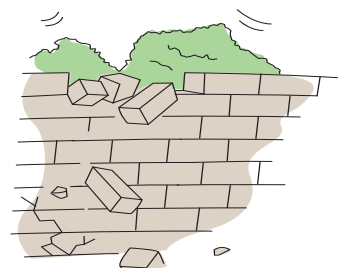
◆ 津波警報が出たらすぐ避難！

津波警報や注意報が
発表された場合や
大きい地震が起きた
ときは、ただちに
高台などの安全な
場所へ避難しましょう。



◆ 安全な避難経路を選ぶ！

地震によりブロック塀・
門柱・自動販売機などが
倒れている場合がある
ので、避難するときは
注意しましょう。



◆ より早く高い場所へ避難！

できるだけ早く
高台などの安全な
場所へ避難
しましょう。



◆ 率先して避難！

「津波だ、逃げろ」と、
大声を出しながら
率先して避難
しましょう。



◆ 水が引いても勝手に戻らない！

津波は何度も
やってきます。
避難の解除など
安全が確認
できるまで
避難場所等に
留まりましょう。



非常用品をチェックしましょう！

◆ 非常持ち出し品・備蓄品

災害発生時など非常時に持ち出す物を家族構成にあわせて、必要最小限に絞り込みリュックなどに入れ、一度背負ってみましょう。男性は15kg、女性は10kgを目安にし、両手を自由に動かすことができるか確認してみましょう。

また、被災後の生活を支えるために、1人あたり7日分を目安として食料、水、生活用品などの備蓄品を準備しましょう。

水は1人あたり1日に3リットルを目安に、長期間保存可能なものを用意しておきましょう。



非常持ち出し品 (例)

災害発生時に持ち出すもの

● 避難用品

- ☐ ヘルメット ☐ 懐中電灯 ☐ 予備の電池
- ☐ ホイッスル ☐ ろうそく ☐ 戸別受信機

● 生活用品

- ☐ 携帯ラジオ ☐ ライター・マッチ
- ☐ 多目的ナイフ ☐ ウェットティッシュ
- ☐ トイレットペーパー ☐ ビニール袋
- ☐ 軍手 ☐ カイロ ☐ 筆記用具
- ☐ タオル ☐ 常備薬 ☐ 救急セット

● 貴重品

- ☐ 現金 ☐ 印鑑 ☐ 預貯金通帳
- ☐ 免許証(コピー) ☐ 保険証(コピー) ☐ 携帯電話
- ☐ カード類 ☐ 家・車のカギ

● 非常食

- ☐ 飲料水 ☐ アルファ米 ☐ カンパン

● 必要に応じて用意するもの

- ☐ 衣類(着替え) ☐ 雨具 ☐ 予備のメガネ
- ☐ マスク ☐ 生理用品 ☐ ラップ・アルミホイル

● その他必要なものを書き込みましょう

☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐

非常備蓄品 (例)

被災後の避難生活のために準備するもの

● 生活用品

- ☐ 新聞紙 ☐ 洗面用具 ☐ バケツ
- ☐ カセットコンロ(燃料) ☐ 紙食器
- ☐ ライター ☐ フード付雨カップ
- ☐ 裁縫道具 ☐ 石けん ☐ 生理用品
- ☐ 万能ナイフ ☐ 布ガムテープ
- ☐ タオル ☐ 軍手 ☐ ろうそく
- ☐ レジャーシート ☐ ひも
- ☐ くつ・スリッパ ☐ ティッシュ
- ☐ ラップ・アルミホイル

● 非常食 (1人あたり7日分を目安)

- ☐ 水(1人1日3リットル) ☐ アルファ米
- ☐ カンパン ☐ 缶詰
- ☐ レトルト食品 ☐ 調味料
- ☐ チョコレートなどの菓子類

● 衣類

- ☐ 着替え用衣類・靴下 ☐ 帽子
- ☐ 着替え用肌着 ☐ 毛布 ☐ マスク

非常持ち出し品・
備蓄品は少なくとも1年に
1度は点検しましょう！



防災メモ

避難場所や、家族と話したこと、気づいたことをメモしておきましょう。

◆ 家族の記録

氏名	生年月日	血液型	緊急連絡先	備考

◆ 避難場所

◆ 家族の集合場所

◆ その他の防災マップ ※避難所・避難場所などの最新の情報は、紀北町ホームページなどでご確認ください。

紀北町洪水ハザードマップ

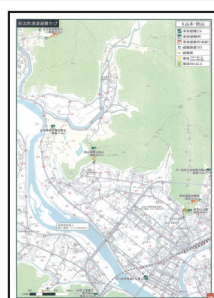


赤羽川水系、船津川水系、銚子川が大雨によって増水し、堤防が決壊または越水した場合に浸水する範囲と浸水深などを示したマップです。

(平成20年度 作成)

<http://www.town.mie-kihoku.lg.jp/hpdata/bousai/map/kozui.html>

紀北町津波避難マップ



紀北町内各地区の海拔と津波避難場所の位置を示したマップです。避難場所については、町指定、地区指定など種別を分けて示してあります。

(平成23年度 作成)

<http://www.town.mie-kihoku.lg.jp/hpdata/bousai/hinan/tsunami.html>

紀北町防災マップ 津波・土砂災害編



津波編は、津波浸水予測図として想定される津波浸水深などを示したマップです。

※平成16年三重県の津波被害想定調査の結果を参考に作成しています。

土砂災害編は、土砂災害危険区域図として土砂災害危険箇所などを示したマップです。

(平成19年度 作成)

<http://www.town.mie-kihoku.lg.jp/hpdata/bousai/map/hazard.html>

メモ

大丈夫かなあ??と感じたら… ココ をチェック!!

✓ 川の水位を確認するには…

国土交通省 川の防災情報 **【URL】** <http://www.river.go.jp/>
 三重県 防災みえ **【URL】** <http://www.bosaimie.jp/>

✓ 現在の雨量を確認するには…

三重県 防災みえ **【URL】** <http://www.bosaimie.jp/>
 紀北町 土砂災害情報 **【URL】** <http://210.236.163.90/mdis/index.html>

✓ 土砂災害情報を確認するには…

三重県 **【URL】** http://www1.sabo.pref.mie.jp/mie_gis/start.php
 紀北町 **【URL】** <http://210.236.163.90/mdis/index.html>

✓ 防災情報を確認するには…

気象庁 **【URL】** <http://www.jma.go.jp>
 三重県 **【URL】** <http://www.bosaimie.jp/>
 紀北町 **【URL】** <http://www.town.mie-kihoku.lg.jp/bousai/>

✓ クチスボダムの放流情報等を確認するには…

【TEL】 0120-02-4672

✓ 交通機関問い合わせ先

◆ JR東海

【URL】 <http://jr-central.co.jp/>
【TEL】 050-3772-3910

◆ 三重交通株式会社南紀営業所海山事業所

【URL】 <http://www.sanco.co.jp/>
【TEL】 0597-32-1321

◆ 紀勢国道事務所尾鷲維持出張所

【URL】 <http://www.cbr.mlit.go.jp/kisei/>
【TEL】 0597-22-1312

◆ 三重県尾鷲建設事務所

【URL】 <http://www.pref.mie.jp/okenset/hp/>
【TEL】 0597-23-3527

火事・救急

119 番

警察

110 番

防災関連機関連絡先

紀北町役場 危機管理課 / 0597-46-3114

尾鷲警察署 / 0597-25-0110

海山総合支所 / 0597-32-3901

紀伊長島幹部交番 / 0597-47-0004

海山消防署 / 0597-32-0004

NTT (三重支店) / 113

紀伊長島消防署 / 0597-47-0001

中部電力尾鷲営業所 / 0120-985-321

災害用 伝言ダイヤル

災害時は一般の電話がつながりにくくなります。
 安否の確認などには、災害用伝言ダイヤル
 サービスを活用しましょう。

被災地内からも、被災地外からも、被災地の方の
 電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

※携帯電話・PHSからもご利用できます (一部事業者を除く)

伝言の録音方法

171▶1

(×××) ×××-×××××

▶ 伝言を入れる

30秒以内

伝言の再生方法

171▶2

(×××) ×××-×××××

▶ 伝言を聞く

30秒以内